

『炎症性腸疾患（IBD）でも外出機会を！』

多機能トイレ情報共有サービス「Check A Toilet」
アプリ [iPhone & Android] の機能をバージョンアップ！

多機能トイレ情報共有サービス「Check A Toilet みんなで作るユニバーサルデザイントイレマップ（<http://www.checkatoilet.com/>）」を運営する特定非営利活動法人 Check（本社：東京都世田谷区、代表理事 金子健二、以下 NPO 法人 Check）は、iPhone 版アプリ「Check A Toilet for iPhone」、Android 版アプリ「Check A Toilet for Android」、に新機能「IBD ボタン」を搭載したアップグレード版を5月18（金）にリリースしました。

■概要

Check A Toilet は、利用者・自治体・事業者のみならず日本全国の多機能トイレ（オムツ交換台付きトイレなど）や授乳室の情報を地図上で共有するインターネットプロジェクトです。

収集された情報は、旅行、通勤、ショッピングなどの日常生活はもちろん、自然災害・事故による帰宅困難時などに活用していただきたいと考えています。

この度、iPhone 版アプリ「Check A Toilet for iPhone」、Android 版アプリ「Check A Toilet for Android」のバージョンアップに伴い、新機能「IBD ボタン：炎症性腸疾患（IBD ※1）の患者さん専用の条件検索機能」を追加しました。

※1 炎症性腸疾患 (Inflammatory Bowel Disease: IBD) とは：大腸および小腸に慢性の炎症または潰瘍を起こす病気の総称。

■「IBD ボタン：炎症性腸疾患（IBD）の患者さん専用の条件検索機能」について

【機能】

炎症性腸疾患（IBD）の患者さんが主に多機能トイレで利用される項目を選出し、今いる場所から自動的に多機能トイレを検索します。



※各サービスの条件検索画面の上部に設置しております。

【機能を追加した理由】

毎年、5月19日は「世界IBDデー」として、炎症性腸疾患（IBD）の理解と認知に向けた取り組みが世界各地で行われております。炎症性腸疾患（IBD）の患者さんは世界に約500万人以上いると言われ、日常生活、特に外出先のトイレに問題を抱えております。この度、炎症性腸疾患（IBD）の患者さんでも、安心して外出する機会を創出するため、「IBDボタン」機能を追加しました。



■今後の展開

日本の多機能トイレ情報共有サービスだけでなく、海外の多機能トイレ・トイレの情報共有サービスを立ち上げ、現地団体・市民と共に、活動を広げて行く予定です。

■「Check A Toilet for iPhone」

【ご利用方法：価格 無料】

App Store > 検索 > 社会貢献 or ボランティア

App Store > カテゴリ > ナビゲーション > Check A Toilet for iPhone

[URL]

<http://itunes.apple.com/WebObjects/MZStore.woa/wa/viewSoftware?id=371963398&mt=8>

■「Check A Toilet for Android」

【ご利用方法：価格 無料】

Google play > 検索 > ボランティア or 多機能トイレ

[URL]

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.checkatoilet>

◇取材のお申込・このリリースに関する問い合わせは下記まで、

TEL：080-4162-4550 メール：k.kaneko@check.or.jp 担当：金子

特定非営利活動法人 Check

<http://www.check.or.jp/>

代表理事：金子健二

事業内容：

- (1) トイレマップ制作を通じた市民活動支援事業
 - (2) バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する情報収集及び情報提供事業
 - (3) 社会貢献活動に関する普及啓発事業
-

※記載されている社名・サービス名等は各社の商標および登録商標です。